

第3回 京丹後市社会教育委員会議（会議録）

日 時：令和6年1月23日(火)午後2時00分～4時00分

会 場：大宮庁舎 1階 大宮保健センター

出 席：中山・菅生・山副・野村・藤原・折戸・室井
田中・橋垣・中江・岩田・上田

欠 席：稲本・藤村・和田

傍聴人：0人

事務局：松本教育長・引野教育次長・安達生涯学習課長
下戸スポーツ推進室長・亀田図書館長
坪倉課長補佐・吉岡

次 第

1. 開 会

2. 開会あいさつ

京丹後市社会教育委員会議議長

京丹後市教育委員会教育長

3. 協議事項

(1) 令和6年度社会教育推進の重点について（資料No1）

(2) 第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて（資料No2）

4. 報告事項

(1) 京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画（素案）について（資料No3）

(2) 市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケートについて（資料No4）

5. その他

6. 閉会あいさつ

京丹後市社会教育委員会議副議長

【会議録】

開会

事務局

ただいまから令和5年度第3回京丹後市社会教育委員会議を開催いたします。

本日は、稲本委員様、藤村委員様、和田委員様にご欠席のご連絡をいただいております。

また先ほどもありましたが岩田委員様は、少し遅れてのご出席というふうにお聞きをしております。それでは、京丹後市社会教育委員会議、中山議長様よりご挨拶を申し上げます。

開会あいさつ 京丹後市社会教育委員会議 議長

中山議長

本日はご多忙のところ、令和5年度第3回京丹後市社会教育委員会議に出席していただきありがとうございます。新年早々能登地震があり、大きな被害があり、本当に心が痛みますけれども、少しでも早く復興することを願っています。全国的には、新型コロナウイルスの感染症の5類移行により、世の中も少しずつ日常を取り戻してきたような感じだと思います。

社会教育の分野でも、大会や研究会と内容的にはコロナ禍以前のような状況になってきていますが、数年間の中断の悪影響で参加者が少なくなってきています。京都府社会教育研究大会は、全員参加は当然だと思っておりましたが、寂しい参加者でした。

第2回の社会教育委員会議の前に研修会がありました。参加者は半数ぐらいでしたが、グループ討議の中で、2年間同じ社会教育委員でしたが、会議の中だけのかかわりだけだったのでどんな活動されてるか知らず、みなさんが素晴らしい実践をされていることが分かり、やっぱりみんなが集まり、話合うことが大切だと思いました。予定では、来月2月に丹後町の橋垣憲光委員さんのお寺で精進料理を食べながら、近況報告や社会教育について、何を頑張っておられるか、軽くざっくばらんに話し合っただけで楽しい有意義なときを送ろうと計画していますので、多くの委員さんに参加して欲しいです。

本日は、来年度の社会教育推進の重点等について協議して頂きます。

再選される方も多くおられると思いますが、京丹後市社会教育委員としての任期の最後の大切な任務です。どうかよろしく願います。

開会あいさつ 京丹後市教育委員会 教育長

松本教育長

皆さん改めまして第3回の京丹後市社会教育委員会議にご出席いただきましてありがとうございます。今ありましたように、お正月元旦早々京丹後市も相当揺れまして、私の感じで揺れ方は、阪神淡路の時ぐらいの揺れがすごく、恐怖を感じるような揺れだったのではないかなというふうに、皆さんも感じておられたのではないかと思いますけれども、京丹後市でもあの日は、津波注意報ではありましたが出ましたので、140人を超す自主避難の方が、京丹後市の中では、グラウンド等に避難された方もいらっしゃるというふうに聞かせていただいています。本当にお亡くなりになりました皆様にご心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

また一刻も早い復興ということで、お祈りしたいと思っておりますが、そういう意味において京丹後市も1月4日には、市の災害等支援対策本部を立ち上げまして、その日のうちに消防本部の方から支援隊の第1陣が行きまして、もう既に第4陣まで行っているという状況に

もなっております。1月5日には支援物資を搬送したり、義援金の受け付けを始めたりとか、さらには1月13日から市の職員を派遣したり、21日からはもう看護師とか保健師の派遣もというようなことで本当にできる支援をさせていただいてるというような状況になっております。また京丹後市の宿泊業関係の方や、し尿処理関係の方にもお世話になって支援の受け入れであったり、実際にし尿の方の処理支援の方に行っていただいているというような、本当に全市挙げての支援というような状況でありますので、皆さんにもご報告をさせていただきたいと思います。

さて1月に入りまして、本当に暖冬で学校現場においても、社会教育の中においても、大変やりやすい状況で推移しておりましたけれども、今日の夜ぐらいから警報も出そうなどというところで、何事もなく大きなことなく過ぎてくれればと思っているところです。

社会教育委員会議におきましては、第2回の会議の中での冒頭のご挨拶の中で、Kyotango Sea Labo で取組んでいる子どもたちの話もさせていただいたと思いますけれども、そうした取組を一昨日の日曜日、京丹後市教育フォーラムということでアグリセンター大宮を会場に実施をさせていただいて、Kyotango Sea Labo で取組んでいるようなことや、京丹後市の教育委員会が子どもたちにどんな力をつけさせたいと思っているのかというようなことを中心にフォーラムを開催させていただきました。参加いただいた方もいらっしゃるかと思いますけど、京丹後市としてはそうした力を学校教育だけではなく、社会教育も一緒になって取組んでいくことによって子どもたちが、将来グローバルな社会をしっかりと生き抜いてくれる力をつけていこうというようなところで取組んでいるところであります。

折に触れて社会教育委員の皆様にも今、学校教育、社会教育でどんなことを重点に進めているかということについて、丁寧にお話もさせていただく機会を持ちながら、今後も進めていきたいというふうに思いますので、今日の会議もそうした趣旨を受けまして、来年度の社会教育推進の重点やスポーツ推進計画の見直しについての議論をいただくことになっておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それではこの後の議事につきましては、中山議長様にお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

協議事項（1）令和6年度社会教育推進の重点について

中山議長 協議事項（1）令和6年度社会教育推進の重点について事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしく願いします。

事務局 (事務局説明)

中山議長 ただいま事務局から丁寧に説明していただきました。たくさん内容ですけども事前に配布していただいておりますので、皆さん読んでおられると思います。ご意見・ご質問等ございましたら、挙手して欲しいと思います。

委員 6ページなんですけれども、6ページ4の（4）のところで、図書館として居場所をつくれたらいいかなって思うんで、ここへ居場所の文言入れてもらったらいかなと思うんですけども。情報の収集と居場所の提供というふうに、居場所をここに入れて欲しいなと思うんですけども、どうなんでしょうか。

それと16ページで(2)のところの「研修及び交流機会の拡充」を入れてもらっていてありがとうございます。

しっかりと入れていただいて、いいなと思っております。以上です。

中山議長
事務局

じゃあ、事務局の方で何かありましたら。

この4番の図書館活動の推進の部分の(4)ということで、居場所ということで、確かに今この後ありますけれども、アンケートを取らしてもらったことがありましてそこでやっぱり学習とか調べもの、図書を借りるっていうだけではなくて、人が集まる場所でゆっくり過ごせる場所っていうこともその図書館に求められる意見として非常に多くなってきていて、この(4)のところで市民の幅広いニーズの中にその居場所としての要求が入ってると思いますので、ここに情報の収集・提供だけではなくて、ここに市民の居場所ですね、過ごす場所・居場所を提供するというような感じで入れさせてもらえたらなと思っております。

中山議長

その他ありましたらお願いします。

5ページの3地域を創る公民館活動の推進ですけれども、令和7年度から新しいコミュニティに進むということで、6年度がそれに進む最後の段階っていうか、最後の1年になりそうな気がするんですけど、公民館活動がどういうふうになっていくかっていうのがよくわからなくて、町公連だとか市公連だとか府公連にどう繋がっていくのかっていう、もう全く繋がらなくて地区公民館はもう無くして行って新しいコミュニティの中に含まれる。

上とは繋がらないようになるのか、また繋がっていくのかっていうところはちょっとよくわからない。今、各地区で新しいコミュニティについてすごく頑張ってるんですけど、一番遅れてる峰山町でも今夜また会議があるんですけど、本当にそれに向けてまだよくわからないことがどういうふうになっていくっていうのは、わかる範囲で良いので、ちょっと教えて欲しいなと思います。

事務局

今日もその会合があるということで、確かにいろんなところからお声も聞かせてもらってまして、その公民館に関してもなかなかその情報がどうなるんだろうということが不安に思っておられるところが多くて、私たちも遅ればせながらですけども、各町公連さんの会議館長主事さんに集まっていたいて、そういったご説明をしに行かせてもらっております。これは地域コミュニティ推進課と一緒にいって行かせてもらってるんですけども、今議長からのお話の中で言いますと、今回地域コミュニティの中でこれまでの従来の公民館活動ですとか、地域の学習活動だとか、いろんな交流活動などをしていただくというふうに切り替わるようなこととなります。それに伴って、今いわゆる活動の資金として、自治公民館活動交付金というのが、各公民館に市から出ている。それを使ってもらって有効な活動をしていただいているんですが、この交付金というのが公民館の交付金ではなくてこの7年度というか移行したところから、地域コミュニティの一括交付金という形で交付され、その交付金の形も変わってくる。そして出どころも変わってくるということで、それをその地域コミュニティで受け取っていただいて、今の公民館の活動だけではなくて自治の課題解決をするようないろんな活動にも使えるというようなことで自由度が増すというような説明をしておるようなところなんです。確かにその地区公民館っていう名前が言ってみれば、なくなると言えばなくなるんです。ただ地域コミュニティの中でそういった学習活動をしたりだとか、従来の公民館活動を続け

ていただくためのその部門といいますか、今地域コミュニティに移っているところはそういった部門を結構作られていて、そこに館長さんとか主事さんに当たるようなスタッフの方をつけていろんな活動されているというような状況がありますので、その上とどう繋がるのかということになりますと、地域コミュニティの中で活動していただくので、そこに対して私たちは、公民館活動だとかこの生涯学習活動っていうのをこんなことに取組んでもらったらいいですよっていうような情報提供させていただいたりだとか、あとはいろんなお問い合わせがあったときにお答えをさせてもらって、できる限りのご支援をさせていただくとかそういうような動きをしていくことになるのかなと思っていますところ。

中山議長
委員

ありがとうございます。その他何かありましたらお願いします。

今とも関連するんですけども私も今弥栄町の鳥取地区公民館の主事をしております。

その関係でその新コミの旧鳥取小学校区の会合にも出てるんですけども、館長と主事が出てこいということで行かしてもらってるんですけども、非常に曖昧な形になってます。

ここに確かに支援するとか、そういうのはありますけれども、先ほど議長おっしゃられたように、その横の繋がりが無くなるんですよ。これまででしたら町公連という形で、そこでいろんな活動の交流をしたりとかあったんですけども、それがなくなってしまいますので、その新コミのところに任せてしまう。そのやり方によってはいくら支援するというふうになっておるので、どこが具体的にどういう縛りが、縛りという言い方はおかしいですけども担保されるのか、あとのところにも人権教育、人権学習等もありますけれども、これまでは地区公民館の活動で必須になってましたよね。その人権学習は、ですから縛りがかかってたんですけども、もうそれはかからなくなったら、それがこう書いてあっても、どう担保されるのか、その辺がちょっと、非常にこの会議の中でもこの地区公民館が無くなるという話はずっと前から出てこなかったですね。何となくそういう感じの話はあったんですけども、ですから先行されてる久美浜の佐濃のところでは公民館部というようなのを作られたりしてますけど、この今回の場合はこうしてくださいということはないですよ、形をそこで考えるみたいな自由度が高いと、やりたいようにやれるお金の使い方も縛りは少ないという、縛りがないわけではないんですけど、そこに任されてしまうとうこういう方針があっても、今までの公民館活動はどう担保されるのかというあたりは、非常に私は不安に思っています。

私も任期としてはもう今年の3月で主事は終わるんですけども、あと1年誰がするかというのはまた別の話なんですけれども、その辺が不安材料といいますか、どうお考えなのかなというのは、前回もちょっとそのお金のことも聞きましたけどその辺も合わせて、これまでの公民館への交付金が今度の新コミになったときには同じなのか、どうなるのかというあたりも合わせてお願いできたらと思います。

中山議長

確かに今現在、新しいコミュニティ組織を作るときに今話し合ってるんですけど、どうしていかうか今現在、館長主事とか会計とか地区公民館そのままの組織があと1年間このままでいいいいのか。さらに上に繋がるためにはどうして組織を変えていかうかって今ものすごく難しく迷ってる場所なんです。急にパッと来年から変わるなんて、来年4月からどうして今館長主事とか言いますけれども、それが来年どう繋がっていくのか、もっと新しく主事

をもうちょっとたくさん働けるようにするとか、報酬を上げようだとか、本当に今新コミで検討しておられるところは迷っておられると思います、来年7年度からは新しい組織をつくっていかねばなりませんので難しいところです。

事務局

確かに自由度があるっていう言い方は確かにしております。逆に言うとその縛りが緩くなるとその公民館の交付金のとときは、緩く自由度が増しているということは間違いないと思います。今の公民館の交付金の場合には、人権学習っていうのが必須項目ですよとそれが無いと交付金は出ないんですよということに縛りということがあります。今度の地域コミュニティの交付金にはそれがありません。それはいろんなその流れの中で自由度というところにも目的があって、縛りをつけなかったというふうなことはあります。ただ新しい交付金の交付基準の中で、まず一番基本的なところは、従来の公民館活動を行う場合に基本的なものが出ますよということになっています。あとは事務局といたしますか、事務員さんを置く場合に複数の集落が集まられたような場合にはそういった人件費も出ますよっていうこと、あとは複数の地域課題を解決するような取組をまた特別にされた場合には、3段階目の交付金がつきますよというような、そういう3段階の内容にはなっております。言っていたみたいですが確かに縛りは無くなっていますので、地域の裁量といたしますか、どのような取組をするかは、結構任せられてる部分は多いかなというふうに思っています。それは公民館活動を含め、それ以外の自治をしていく上での持続可能な地域にするための必要な活動もしていただけますよということになっております。あと最後に交付金の金額がどうなるんだろう、多くなるのか少なくなるのかっていうところは、よくそれも質問が出ていて、地域コミュニティ活動交付金もベース部分と加算分というのがあるので、一概に多くなるのか少なくなるのか地域によって違う部分もあるので、個別での試算をしてみないとわからないのではないかなと思っております。今現在の公民館活動はしていただけるような金額となるようにということで計算はしてもらってはいます。

中山議長
委員

何かありましたらお願いします。誰かありませんか。

ちょっとまだよく理解できないのは今の地区公民館への交付金が出てますよね。それでこれまで活動してきた、それ以外のこともたくさんありますよね。そしたら当然公民館的な活動のところというのは、かなり減るといふふうになりますよね。新コミのところっていろんなことを網羅するみたいな形になってますので、鳥取地区のところでしたら3集落なんですけれども、そこのいろんな取組を支援していく。ただ今の時点では、その1つ1つが成り立ってないけどそういうところではないので、余計にちょっと違うんですけれども、場所によたらもうなかなか集落として成立しにくくなっているようなところもありますので、そこら辺がかなり公民館の活動というのがこれまでよりもかなり落ちるんだろうという、そのお金の面だけで言いましても使えるものが減りますよね。当然そうなるというふうには思いますが、それでも。

事務局

そうではないという話にはなるんですけど、金額面だけには限らないところ、いわゆる予算がなくても取組めるものっていうのがあったりもしますし、ただ全体的に必ず下がるっていうことではないとは思ってます。確かに取組まれる事業によっては、年間にする事業があって、その中の公民館でしていた事業がいくつかあって、それ以外がいくつかあって、そ

れ以外のところが増えてくると確かに公民館活動が少なくなるっていうそういう意味ですよ
ね。

その可能性はでもありますね。

中山議長

だけど新コミの目的は、各区がもう小さくなってきて各区でやる事業が難しくなるので広域的にやろうということで、例えば各区が敬老会とかやってるんですけど、各区ごとにそれをもうみんな人数も少なくなってきたらみんなの4つの地区で取組もうとかそういうふうにかなり公民館のことで増えていくと思うんです4つの地区すべてね。そのためにやるっていうので新コミだと思ってたんで、1つの地域が小さいところでできないので、より多くの地域でみんな協力してやっていこうということは、増える公民館的なことも増やしていかないと駄目だっていうか、計画的にはやっていこうと思ってるんです。各区の交付金みたいのがあるじゃないですか。そういうのも含めて考えてもらえと思ってたんです。

事務局

今現在の各区への交付金というのはそのまま聞いておりますので、それ以外の部分で今議長がおっしゃったような複数の地区が一緒になってスケールメリットといたしますか、別々にやっていたものを一緒にできるとかっていうところがあって、ただ地区によっては、単独でもまだまだ十分、そんな困ってないよというところもあると思うので、その温度差というのは出てくるのかなとは思いますが、やっぱり将来のことを考えてなかなかうまく運営ができなくなってくるということを予測しての今から準備を進めたいというようなところで。公民館活動は、そういった中でも重要な活動ですということで、コミュニティの中でしっかりと進めてもらいたいということを説明させてもらっております。

中山議長

ありがとうございます。その他ありませんか。

じゃあ社会教育推進の重点は以上でいいでしょうか。

協議事項（2）第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて

中山議長

続きまして、協議事項（2）第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

（事務局説明）

中山議長

ありがとうございました。膨大な量の説明だったんですけども、何かご意見ご質問等ありましたらよろしくをお願いします。

委員

5点ほどあるんで1点ずついきたいと思います。

5ページなんですけれども、（2）の年齢階層別っていうところの医療費の軽減に繋がるっていうのが削除されてるんですけども、ここはすごく大事なことで、持続可能なためにもやっぱり健康長寿のまちっていうふうになってるから、その健康長寿のまちを入れて欲しい。これもう絶対大事な言葉ですよ、皆さんが意識する。

だからこれは削除しないで、健康長寿のまちを入れて、この文言活かしてください。

そして、2点目。45ページ、計画の目標っていうところで、ここで欄の書き方なんですけれども、目標として令和9年度っていうふうになってますよね。これがいいんですが、それが48、52、54、56ページのところには、最終目標になってるんです。最終目標ってちょっとネーミングよろしくないんで、最終を全部削って欲しい。まだ他にもあるかもしれ

ませんが、最終目標っていらないうすよね。目標だけで、ちゃんと目標の年数が入るので最終目標って何かちょっとよろしくないと思います。

それから、62ページのこれは質問なんですけれども、下の修正前の権力体操っていうのがあるんですけれども、これを筋力体操に見直されてるんですけれども、この権力体操ってのはどんなものがあるのかなと思ひまして、権力体操がありましたら教えてもらおうと思ひてしました。それと全体としてこの膨大なこの資料、これをもう少し簡素化に作成される方がいいと思います。全体的にもうちょっと分かりやすく読みやすい。グラフとかそういうのはいいですけれども文言が長々とあるっていうよりも箇条書きのような形でこの資料をされたら、こんなにたくさんの資料っていうのがよろしくないと思います。

中山議長
委員

はい、どうぞ。

この文面じゃないんですけど、最後にパブリックコメントを取る言うて、これって実際他のいろんなホームページ見せてもらってますけど、1件とか2件の意見が全体の意見を集めてるっていうふうにするのはどうかと思ひてもうちょっと集め方があるんじゃないかな。流行りみたいにしてすべてそういう感じでやっておられるんですけど、ホームページを見たら全然意見集まってへんやんと思ひて見てるんですけど、皆さんどうかと思ひました。以上です。

中山議長
事務局

はい。事務局から説明お願いします。

最初の5ページの健康長寿の関係ですけれども、ちょっと検討させていただきたいと思ひます。一応ですね、その医療費の軽減に繋がってないなと思ひて。だけども、そういうことも加味しながら健康長寿っていうところを市全体としてはそのことを進めておりますので、こちら文言の方は検討させていただきたいと思ひます。

委員

健康長寿のまちっていうのは、京丹後市でこれはもう上がってるんですよね。全国的にね。この健康長寿のまちっていうことがそれに繋がってるっていうのは、私は想像として医療費も安くなってるんじゃないかなって思ひてるんだけど、この辺はどうなんでしょうか。健康長寿だから、医療費がこの辺のところに繋がって行くような市にしないと駄目だと思うんですよ。だから健康長寿のまちと医療費の削減をイコールでの目標というか、そういうものにして欲しいなと思ひます。考えるんじゃなくてこれは削除しないで欲しいです。

事務局

毎年広報の方で医療費のグラフが出てると思うんですけれども、それを調べたんです。そしたらやっぱり医療費が減ってはいない。それは市の広報で国保かな、医療費を掲載してましたので、そこをちょっと調べさせてもらったら、そこは軽減になってなかったのになかなか難しいかなあと思ひて削除しました。

委員

健康長寿のまちとなったっていうことを京丹後市だけで医療費が今の言うてられるんでしょ。他の府県との比較で医療費は安くなってるんだらうかっていうのが私は聞きたかった。他府県とのところと比較して、だって健康長寿のまちと言ってるんだから、他所の医療費よりは安くなってないのかな、この辺がどうかっていうことを知りたかったんです。持続可能な社会づくりっていう意味でその辺は医療費の軽減にも繋がるっていうことを謳うっていうのはいいと思ひます。

事務局

ちょっとそこまで調べてなくて、他町との比較ですか。はい。わかりました。

中山議長

いろんなところの部署との関係もありますので、検討してもらおうということでさせていただきます。

きたいと思います。

事務局 それから最終目標ってというのがなんですけれど、一応この計画自体が10年間の計画で令和9年までっていうことをしてますので、そこで一応最終目標って最終を入れております。ここも目標だけが分かりやすいのかというところを検討させていただきたいと思います。

委員 45ページには目標だけになってます。これの方がいいと思います。だから最初はいらないと思います。

事務局 ここ合わせさせていただきます。あと62ページは先ほど言いましたように文言修正をさせていただきます。それから、資料の多さですね。一応、必要な資料をすべて付けさせていただきますので、今回はこのままいかしていただきたいと思います。

中山議長 詳しい資料も必要な人は必要ですし、こうなってるっていうのが分かって良いですし、全体的にわかりやすくというところが、もしできればまたお願いしたいと思ってます。スポーツ関係では、高齢者にとってはすごく助かってます。使用料が免除されてますので多くの方が有意義に、特に僕がやってるのはグランドゴルフですけど、70歳で一番年下ぐらいでして、80、90歳ぐらいの人たちが車に乗って来られて、元気でしっかりとしていてすごいなあと思って、90になってもあんな風にできるなら頑張っってやりたいなあと思うぐらいすごい頑張っておられます。

ありがとうございます。嬉しいです。その他ありましたらお願いします。

委員 今の意見に関連してです。計画がどうのこうのではないんですけど、現状として80、90歳の方がグラウンド整備を一生懸命支えておられるんです。その予算のとき見たらグラウンド整備にかかるお金ってすごく何百万円お金が出てましたよね。それも委託としてされてると聞いたんですけども、そのお金がちゃんと使われてるのかなあということがあるんです。グラウンド整備にかかる費用があるにも関わらず、実際は夏の暑い時にグランドゴルフがスムーズにできるように80、90歳の方が一生懸命にそれを支えておられるんです。暑い時に熱中症も心配なのに、それが1回したらいいならいいんですけども、やはり何回か繰り返す中で事故が起こったりしても困るんですけども、その使い方、やり方を委託の方に言っておられるそうなんですけども、それが改善されないという現状もあるっていうことで、改善をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 また具体的に教えてください。お願いしてる業者の全部に言ったらいいんですけど、ただ委託の中身っていうのは例えば1週間に1回とか、そういう回数を指定してる部分もあります。使うごとに毎回してくださいということにもなってなくて、なのでその範囲内でということにはなりますので、それと確かに今頃夏は非常に暑くて熱中症の危険があるっていう時は、利用の方もやっぱり控えてもらうというのも1つではありますけれども、ちょっとまた個別に教えてください。

中山議長 はい。よろしく願いします。その他ありますか。

報告事項（1）京丹後市拠点公共施設整備基本計画（素案）について

中山議長 続きまして、報告事項（1）京丹後市拠点公共施設整備基本計画（素案）について事務局より説明をお願いします。

事務局 (事務局説明)

中山議長 ありがとうございます。今の説明について質問・意見がありましたらお願いします。

委員 さっきも聞かせてもらったんですけど、これができたら大宮・弥栄の図書館は閉めるかという話が出てますよね。市民の意見はしっかり聞いてからやりますってどこかにも書いてありましたけど、その意見を聞くときにどういう方法でやるのかなって、この前の会議で質問したのがそこに繋がったんですけど。特に大宮なんか利用者数はすごいですよね。それを言われてたように市民の居場所にするんだったら弥栄は弥栄、大宮は大宮においてもらう。峰山にすごいのができるのは大いに大賛成なんですけど、それに伴って大宮と弥栄を閉めちゃうかもというのはどうかなって思ったんで、とりあえず意見だけ。

中山議長 はい。ありませんか。

委員 今言われたように、もう弥栄は終わりになるんですか、でももうこういう計画がちゃんとあるとなったら、そういうことで進んでるっていうふうに理解せざるを得ないような感じなんだけど。

委員 図書館協議会の答申は、大宮と弥栄は無くして峰山に集めるという。峰山も古いのでということでしたよね。それでアンケートを取って、それは前回の会議のときに、地域の人にもアンケートを取りますというお話だったですね。ついでに言わせていただくと、居場所機能として、以前弥栄病院が古いときは喫茶店があったんですよ、食堂が。そしたら、外から入る人もあったんです。今の病院だったら病院の人しか行かない。ですから、前回見学に行きまして、管内視察であそこのロビーのところを居場所機能として、新聞とか週刊誌があるのかって聞かれたことがあるんですけども、和田野区長だったかな。外からも入れて、別に図書館へ来る目的でなくてもそこへ来て図書館があるということを知ったら見てみようかなということになるかもわからないですね。新聞ぐらいいは、網野はたくさんありますよね。5誌ぐらい入ってるんじゃないですか。そういうのも考えていただきたいと思います。

中山議長 はい、質問と意見がありましたので、事務局の方で説明をお願いしたいと思います。

事務局 今、まずはこういった大きな素晴らしい施設ができれば楽しみだという話もあります。それに図書館があるということで、そこで一番心配に今議題になってるのが大宮と弥栄の図書室がどうなるのかということで、今もお話にありましたが、答申というのが以前にありまして、その中では廃止ではなく統合するという書き方はしてあります。ただ先の議会などでも大きい計画はあるのはいいけれども、やっぱりその地域の図書室として残すべきではないかと簡単に廃止するというのはいかがなものかというようなご意見もあって、その中で教育委員会としても利用者の方ですとか地域にご意見をきちっと聞いて判断をしていきたいということで、この中央図書館として大きいものができるイコール今の段階ですけど、無くすということにはなってなくて、この後またご報告させていただきますけれども、利用者アンケートを取ったものがあります。その中のご意見としては、非常に分かりやすい意見は出ておりますので、そのあたりも加味しながら今後、地域にはどのような聞き方というのか、提案の仕方をするかっていうのは、考えていかないといけないかなと思っております。まずはその利用者の方の意見ということでアンケートを取らせてもらったんでこの次に繋がるようなことになると思います。

報告事項（2）市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケートについて

- 中山議長 それは関連してますので、アンケートの方ももう一緒にした方がいいと思いますのでアンケートの方の説明をお願いします。
- 事務局 (事務局説明)
- 中山議長 ありがとうございます。アンケート結果について説明していただきました。質問とかご意見がありましたらよろしくをお願いします。
- 松本教育長 これやっぱり60代、70代で5割ですよ。もちろん、その高齢の方の利用っていうことも当然今後進めていかないといけないけども、やっぱり子どもたちであるとか子育ての世代の親の世代だとかというこれから長く使っていただく方々がどんな思いなのかっていうところで言うと、40代から下が4割っていうところがどう考えてるかっていうのは取ったりはしてないですか。どっかの区切りでとか、そうすると捉え方が違うような気もこれを見させてもらってしました。
- 中山議長 ありがとうございます。その他ありましたらお願いします。
- 引野教育次長 40代はより若い方とか50代以上の方でのどういう傾向かを出そうと思ったら、多分出せると思います。ちょっと時間がかかるかもわかりませんが、それをまたお願いします。
- 中山議長 はい。どうぞ。
- 委員 すごい素晴らしい施設ができるようなんですけど、やっぱり平日の昼間っていうのは学校に行ったり、それから本当にもう子どもさんが小さい時からすぐ保育所に預けられて、働いてる方が多いので、本当にちっちゃい赤ちゃんを連れてる方っていうのはもうどんどん少なくなってるようで、やっぱり土日とかそれから若い方が行けるような、例えば夕方から夜の長い時間までするとか、そういうことも考えていただいたらいいと思うし、子どもさん中心じゃなくって、高齢とまでもいかないんだけど60代、70代ぐらいが車でそういうところに行って、昼間、図書館だけじゃなくって、他の何かも利用ができるようなそういう施設であって欲しいなと思いますし、やっぱり地域にある図書館ということで、弥栄とか大宮もまたそれなりに何か考えて、存続というか続けていってもらえたらなと思います。
- 中山議長 ありがとうございます。はい、どうぞ。
- 委員 今言われたこと、これいいと思います。時間の延長、開ける時間を延長する。それと、これを大宮と弥栄を閉じるか閉じないかっていう問題なんですけれども、閉じた方が経済的には、市の経済としてはいいと思うんですよ。これの代替として、利用者の人が車を持ってない人を対象にする場合、送迎ができる設備を整えれば高齢者の方のみの対応でいけると思うんで、その方が高齢者の人にはバスが常に運行してるような形に持っていく、そして、やっぱりこの施設っていうのは充実してる施設の方が皆さん魅力あって、新しいのができたら多分もうその古い方には足を向けなくなると思うんですよ。置いとくだけに維持費・管理費の経費が嵩むからその辺の兼ね合いで、高齢者の人、足のない人の送迎ができればと思います。それはもう高齢者は夜遅くまで送迎しなくてもいいですよ。そういう巡回バスみたいなので利用されるような、これが私の気持ち、意見です。
- 中山議長 ありがとうございます。構想では何年後ぐらいに完成なんですか。

事務局 最後のページの方にあるんですけど、まだ場所の確定などもされてない状況ですし、43ページに事業スケジュール案、あくまで案ですよ。

令和10年に工事が終わる矢印ですかね、11年度ぐらいからみたいに見えますけども、ちょっと私もこの会議に出ていないもので、これで見ると限りしか説明できないんですが。

中山議長 まだまだ検討の余地はあるんですね。まだ、今すぐ結論を出すわけでは。

委員 住民アンケートはいつ頃取られるんですか。これは図書館に来られた人のアンケートの結果ですね。住民の方へもアンケートを取られるというお話を前回されてましたがいかがですか。

事務局 アンケートの形にするかどうかも含めてまだ決めておりません。検討しますという段階です。

委員 取るのは取られるんですか。

事務局 アンケートにするかどうかは今の状況では決めていません。

委員 是非取っていただきたいということと、やっぱり居場所機能ということでは、居場所機能になるように、というのは他の会議で、ある区の区長さんに聞かれたんですけど、そこへ行ったら週刊誌はあるのかとかあるところはあるんですよ。弥栄でも雑誌もありますけど新聞はないですし、ただ網野へ行ったら5誌か6誌あるんですかね。峰山4誌ぐらいある。

だから、前回管内の社会教育施設を視察したときに、弥栄地域公民館のロビーのホールのところは空いてるので、あそこが外からでもパッと入って来れるので、そこに飲み物が飲みたいと思ったら飲むような形にして、そこでちょっと時間を過ごせる、で図書館へちょっと行ってみようかなという。図書館を知っておられないんですよ。どんなものがあるかとか、足を踏み入れてないということですよ。

ですから、そういう方がそこへ行くことによって図書館を知ることになったり、そしたらどんな本があるのかなと行って見る。別に本を読みに行かなくても、そこでちょっと時間を過ごすから新聞と雑誌があれば、たくさん出なくても網野の一部を回していただくとか、週刊誌があるかというとはんまに聞かれたんですよ、その区の区長さんが。そこに自販機みたいなものがあって、そんなに手間がかからないようなものがあって、ちょっと過ごすところがあって、そこへ行って新聞読もうかなとかいうことで居場所機能として今ある建物を有効活用していただいて、その横には図書室があるわけですから是非そういった形で、このアンケートで言うと大宮も弥栄も、両方残した方がいいというのはかなりこのアンケートでは多いわけですね。その辺は尊重していただいて、私も最近福知山の図書館行ったんですけど、たまたま休みの日だったんですけど、綾部もできてますね。共にどちらも駅の近くということで、結構大きなもので館内の案内図ぐらいしか見れなかったんですけども、綾部は列車の中から見たぐらいなんですけれども、今大体そういう都市部というか駅の近くに作っているのが多いですね。それから以前、豊岡の芸術大学の平田オリザさんが言っておられたのが、どういう本があるかということで移住者の方は、本の中身によって子育てとかそういったことに関する書籍がきちんとあるかどうかとかいうことを移住の際には見られるんだそうです。ですからそういったことも含めて、移住する人を広く集められてますよね。

ですからやっぱそういったことも含めてお願いできたらと思います。

中山議長 ありがとうございます。また図書館の方でもいろいろ工夫していただけたらと思いますし、居場所づくりに向けて頑張りたいと思います。

その他意見ありましたらもう最後ですので、どうぞ。

事務局

では事務局からちょっとご連絡をさせていただきたいと思います。

社会教育委員さんの委員任期が2年間ということで、今年はちょうど2年目ということになります。本当に皆様には、大変お世話になりましたありがとうございます。また6年度からまた新たな委員さんをお願いさせていただこうと思っております。皆様にも引き続きお世話になりたい方、いろいろとまたこちらからお声がけをさせていただきたいなというふうに思っております。そういった中で今まで各町から2名というような代表のような形で体制をとってきたんですけれども、今回各町の男女2名という形を取り払って市全域として、いろんな関係団体さんですとか頑張っておられる方、他にも文化芸術だとかいろんなジャンルの方に少しお声がけもさせていただいて、人選をさせていただきたいなと思っております。

あと、今は小学校の校長会からの推薦で2名ご参加いただいております、中学校校長会からの推薦で1人をお世話になっておりますが、この部分も小学校の先生1人に変更させていただいて、中学校校長会からのご推薦もお1人で、2名でお願いをしていきたいなと考えております。

また今後、事務局からお声がけをさせていただきたいと思っておりますので、また皆さんどうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

その他

中山議長

また声がかかりましたらご協力をよろしくお願いたします。その他、ありませんか。無いようでしたら、閉会あいさつを藤原副議長様お願いたします。

閉会あいさつ 京丹後市社会教育委員会議 副議長

藤原副議長

本日は長時間のご審議ご苦勞さまでした。名司会によりまして時間ぴったりで終わっていただいて、途中にはトイレ休憩まで取っていただきまして、ありがとうございました。

本日は令和6年度社会教育推進の重点及び第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直し等のご協議をいただきまして、非常にいろいろと意見を自由に言っていただいで非常にいい中身だったかなというふうに思っております。

今年は正月の1日から大地震が大きいというような何か波乱の起きそうな、特に海岸部での地震ですので、南海トラフとか太平洋側のことは言われてましたけど、私もテレビで久美浜町の方で実際に避難をされたというような話を聞きまして、そうなんだと思ってびっくりしておりました。

また事務局におかれましては、事前に会議資料を送っていただいで、送られてきましたらずっしりと重くて、細かい字がたくさんあって読むのに大変苦勞したんですけれども、やはりそういった姿勢、会議その場で出していただいてもなかなかそれを見て意見を言うってことはできませんので、こういうふうにしていただいで、効率的にやはり進められるということ、非常にありがたく思っております。皆様にはいろいろとお世話になりますが、本年もよ

ろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

中山議長 それでは本日の会議はこれで終了とさせていただきます。
どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。